

広報にしあいつ



野沢の盆の熱い夜

- P 2～3 町内各地に豪雨被害
P 4～5 災害から身を守るために
P 6～7 平成23年度成人式
P 8 10月から葉の受け取り方が変わります
P 9 学校支援地域本部事業





1



4



2



3

町内各地に被害 、平成23年新潟・福島豪雨、 住宅への浸水、水田の冠水や土砂崩れなど多くの被害をもたらしました。

記録的な豪雨

活発化した前線の停滞により、新潟県と会津地方にかけて記録的な豪雨が発生しました。
本町にも7月27日から30日にかけて累計で327mmという記録的な豪雨をもたらし、29日の24時間雨量は183mmと7月としては、最大雨量を記録しました。

交通機関にも支障が

磐越自動車道、国道49号が雨の影響で通行止め、国道400号や県道も決壊するなど主要な道路が一時使えなくなりました。

鉄道は、磐越西線が28日から終日運休となり、8月7日に野沢駅から若松方面は運行を開始し、22日には津川駅まで運行を再開しましたが、その先は代行バスによる運行となっています。

また、町民バスも道路状況に合わせて迂回運行するなど、町民の足に大きな影響が出ました。

住宅へも被害が

阿賀川、長谷川や側溝の増水により、住宅への床上浸水が1棟、床下浸水が15棟のほか、小屋や蔵などにも被害が発生しました。



- 1_阿賀川の増水により建物が冠水（橋屋地内）
- 2_浸水の被害を最小限にするため消防団が排水（徳沢地内）
- 3_道路・水田が冠水し沼のように（町道柴崎滑沢線：柴崎地内）
- 4_長谷川の増水によりオートキャンプ場の建物の半分まで水位が上昇
- 5_阿賀川の増水により県道が決壊（主要地方道喜多方西会津線：登世島地内）
- 6_阿賀川が増水し国道49号が一時冠水（上野尻地内）
- 7_大人の背丈の2倍以上まで増水（町道下野尻端村線：端村地内）

町内の被害状況	
※8月25日現在	
国・県管理分を除く	
◆住民避難	避難勧告 8世帯11人避難 自主避難 23世帯52人避難
◆建物被害	住宅床上浸水 1棟 住宅床下浸水 15棟 小屋・車庫など 27棟
◆道路被害	町道（路肩決壊など） 34カ所 林道（法面崩落など） 20カ所 農道（路肩決壊など） 38カ所
◆河川被害	護岸決壊など 21カ所
◆農地・農業施設被害	農地 127カ所 水路 91カ所 その他の施設 12カ所
◆農作物被害	水田冠水 10・9ha

特に阿賀川は、水位が住宅地まで上がり、住宅が浸水する恐れのあることから、橋屋地区には避難勧告が出され、8世帯11人が町公民館へ避難したほか、端村や徳沢でも自主避難するなど、多くの方が不安な時間を過ごしました。

災害対策本部を設置

7月28日に大雨警報が発令されてから、町では被害状況の確認を行ってきました。

実際に被害が発生した地区では、消防団が出動し土のうを積みなどの防災活動を行いました。

被害のあった道路などは被害拡大を防止するため、緊急工事を実施しました。

30日には、増水した阿賀川沿い集落のパトロールを行い、午前9時に災害対策本部を設置しました。警察や消防など関係機関との連絡会議を開催し、併せて町内全域の被害状況の把握を実施しました。

また、県選出の国会議員や県知事に対し、激甚災害の指定や財政支援を国に対して働きかけるよう要望しました。

国では、8月19日に激甚災害指定が閣議決定されました。

災害から身を守るために

今年は、3月に東日本大震災が発生し、多くの尊い命が失われました。
また7月には、豪雨による河川の増水で、住宅、道路や農地などに多くの被害が発生しました。
災害は、いつ起こるか分かりません。いざというときに落ち着いて行動できるようにするには、正しい知識と日ごろの備えが重要です。

日ごろの備えが重要です

◆新聞、テレビ、ラジオ、インターネットなどからの防災情報に注意を払う。



◆避難場所、避難路、避難方法や役割分担、集合場所を家族で話し合っておく。



◆身の回りの災害危険箇所を調べておく。

◆普段から高齢者の方などに声を掛け合い隣近所との協力体制を確立しておく。

◆3日分程度の食料と飲料水を準備しておく。

◆非常持ち出し用品を備えておく。

◆家の内外のひび割れや壊れているところがないか点検しておく。

◆家具や屋外のガスボンベは、転倒防止のため壁などにしっかりと固定しておく。

地震がきたら：

①グラツときたら身の安全

地震のときは、まず身の安全を図り、揺れが収まるまで様子を見る。



②落ち着いて火の元確認

火を使っていたときは、揺れが収まってからあわてずに火の始末をする。

③出口の確保

ドアや窓を開けて出口を確保する。

雨が降り始めたら：

①自主的に避難準備を

テレビ、ラジオ、インターネットなどで最新の気象情報などのさまざまな情報に気を配り、雨の降り方や河川の増水などの状況に注意し、危険を感じたら避難準備をする。

②呼びかけに注意

役場、消防署などからの呼びかけに注意を払う。家の周囲の前兆現象などに注意し、異変を感じたら早めに避難する。

④あわてた行動けがのもと

屋内では、転倒・落下した家具類やガラスの破片などに注意し、落下物などがあるため、あわてて外に飛び出さない。屋外では、ブロック塀、高い建物、高い木や急傾斜地から離れる。



⑤正しい情報確かな行動

テレビ、ラジオや役場からの広報などで正しい情報を得る。家の安全を確認後、隣近所の安否を確かめる。

③避難する前に

ガスの元栓を締め、電気ブレーカーを切る。避難途中で家族が離ればなれになったときのために、集合場所を決めておく。

④2人以上で避難を

できるだけ1人での行動は避け、隣近所一緒に避難する。



⑥協力し合って救出・救護

転倒家屋や家具などの下敷きになった人を近隣で協力して救出・救護する。



⑦避難所への避難

動きやすい服、頭を保護しながら複数の人数で落ち着いて避難する。

⑤安全に避難を

避難するときは、できるだけ高い道路を選び、がけ崩れや土石流などの二次災害に巻き込まれないよう注意しながら避難する。

浸水などがあつた箇所を歩ける深さの目安は、ひざくらいまでと考えておく。

⑥避難に協力を

お年寄り、子どもや病気の人など早めの避難が必要な人に協力する。



災害から守ってください

(災害時要援護者への対応)

高齢者、障がい者、傷病者、妊産婦、乳幼児や児童など、災害時に正確・迅速な行動を取りにくい人たち（災害時要援護者）を災害被害から守るため、みんなで協力しましょう。

高齢者や病人



複数の介助者で対応。ひもなどを使って背負い、安全な場所へ避難しましょう。

肢体の不自由な人



それぞれの人に適した誘導方法を確認。要援助者に恐怖感を与えないように配慮しましょう。

目の不自由な人



はっきり、ゆっくり、大きな声で誘導し、腕を貸して半歩くらい前をゆっくり歩きましょう。

耳の不自由な人



話すときは、口を大きくはっきりと動かし、分からないようであれば、相手の手のひらに指先で字を書いて筆談しましょう。

◆非常持ち出し品◆

万一の災害に備えて、必要な物を3日分程度準備しておきましょう。（飲料水は、1人1日3ℓ程度を目安としてください。）食料品や飲料水などは、定期的に点検しましょう。

必需品

- ☐ 非常食
- ☐ 飲料水
- ☐ 懐中電灯
- ☐ 携帯ラジオ・予備電池
- ☐ 貴重品
- ☐ 衣類・下着類
- ☐ 救急医療品
- ☐ 軍手など



必要に応じて

- ☐ ちり紙・ウェットティッシュ
- ☐ 粉ミルク・哺乳瓶・紙おむつ
- ☐ 雨具・ヘルメット
- ☐ 携帯ナイフ・缶切り
- ☐ 使い捨て食器
- ☐ ろうそく・マッチ
- ☐ せっけんなど
- ☐ 使い捨てカイロ



災害時の連絡先	災害対策本部	(町役場	☎45-2211)
	火事・救急	119	(西会津消防署 ☎45-3119・2519)
			(喜多方警察署 ☎0241-22-5111)
	警察	110	(西会津交番 ☎45-2049)
			(奥川駐在所 ☎49-2026)
	医療機関		(西会津診療所 ☎45-4228)
			(群岡診療所 ☎47-2025)
	安否等確認	171	(N T T災害用伝言ダイヤル：災害時のみ)



～平成23年度成人式～

新たな旅立ちのとき

8月15日、西会津中学校多目的ホールで、平成23年度成人式が行われました。
77人の新成人の皆さんは、さまざまな思いを胸に成人としての第一歩を踏み出しました。



成人証書を授与される
五十嵐聡恵さん



記念品を受け取る
杉本美里さん



今年成人を迎えたのは、平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた方で、成人式に出席したのは、男性43人、女性34人の計77人です。

式では、新成人を代表して、五十嵐聡恵さん（平明）に成人証書が、杉本美里さん（向原）に記念品が伊藤町長から贈られました。

また、榎本愛美さん（上野尻）が「それぞれの夢や目標に向かって日々努力していきます」と誓いのことを述べました。

式典の終了後は、実行委員会の進行で記念行事が行われ、抽選で選ばれた新成人が、成人を迎えた感想や将来の夢など「二十歳の主張」を発表しました。

二十歳の主張



小林 いくみさん (山浦)
将来の夢は、介護福祉士として
福祉の世界で活躍すること、幸
せな家庭を築くことです。



長谷川 満さん (戸中)
成人を迎えたという実感は正直
ありませんが、これから負つてあ
るうさまざまな責任に直面するこ
とで、少しずつ実感していきたい
と思います。



榎本 愛美さん (上野尻)
私は、絶対に小学校の先生にな
って西会津に戻ってきます!!



井上 舞葉さん (森野)
今まで親に迷惑をかけた分、恩
返しします。感謝の気持ちを忘れ
ずに。



小林 真人さん (1町内)
成人とは「人が成る」と書きま
すが、私はまだまだ「成る」こと
はできません。二十歳を境に人
として成れるように努力をし続けな
ければならないと感じています。



祝 成人

出席者名簿から (敬称略)

【野沢地区】 33人

1町内 小林 真人
平野 雅
3町内 鶴巢 麻也
4町内 青木裕記子
5町内 渡部 晴貴
荒井 盛佳
石亀 直哉
鈴木 翔太
沼澤 由貴
7町内 本間みなみ
8町内 渡部 美里
9の1 星 和樹
下小屋 伊藤 司
小林 輝
佐久間ほたる
10町内 鈴木 祥子
仲川 晶
芝 草 和久井 茜
佐藤 佑哉

齋藤 豪司
松 尾 長谷川由美
西 林 佐藤亜由美
坂本 菜摘
西林東 森 和也
さゆりが丘 斎藤 光紗
高橋 佳純
五十嵐未生
上小島 薄上 稜
縄 沢 渡部 春佳
長谷川秀平
長谷川浩兵
長 桜 田崎 拓也
黒 沢 渡部 孝博
出ヶ原 田崎 佑馬

【尾野本地区】 20人

森 野 井上 舞葉
生方 春奈
小野木 瞬
室本 将文
萱 本 川瀬 翔太

齋藤 豪司
松 尾 長谷川由美
西 林 佐藤亜由美
坂本 菜摘
西林東 森 和也
さゆりが丘 斎藤 光紗
高橋 佳純
五十嵐未生
上小島 薄上 稜
縄 沢 渡部 春佳
長谷川秀平
長谷川浩兵
長 桜 田崎 拓也
黒 沢 渡部 孝博
出ヶ原 田崎 佑馬

【群岡地区】 9人

上野尻 齋藤 寛之
石本 朝香
榎本 愛美
三留 奈菜
下野尻 塚原 愛唯

宝 川 渡部 博人
屋 敷 雅楽川翔太
榑木平 江川 龍牙
石川 梓

【新郷地区】 7人

呼 賀 伊藤 徳裕
平 明 五十嵐聡恵
樟 山 伊藤 実咲
柴 崎 武藤 開
井 谷 上野 早紀
橋 屋 斎藤 光
戸 中 長谷川 満

【奥川地区】 8人

向 原 坂井 康司
杉本 美里
山 浦 小林いくみ
出 戸 三瓶 智広
松 峯 矢部 拓也
宮 野 五十嵐紀章
極 人 佐藤 北斗
小綱木 荒海 正人

10月から薬の受け取り方が変わります

町では、町民の皆さんが安心して受診できる体制整備の一つとして、10月3日から町国保直営診療所での医薬分業を始めます。これにより薬の受け取り方が次のように変わります。

医薬分業とは？

町民の皆さんも病院などに受診した際、医師の診察を受けた後に院内で会計を済ませ、薬の代わりに薬の名前、種類、量や飲み方が書かれている「処方せん」が渡され、一度外に出て調剤薬局で薬を受け取ったことがあると思います。このように診察と薬部門を分けることが医薬分業です。

医薬分業の目的

医薬分業により、患者の薬はすべて「かかりつけ薬局」の薬剤師によって管理され、患者ごとの「薬に関する記録（薬歴）」が作成されます。

複数診療科受診による薬の重複や飲み合わせの確認とともに、薬の効き目、飲み方、アレルギーや副作用などについて分かりやすい説明や相談を受けることができるなど、充実した医療と薬の適正使用を目的としています。

医薬分業の内容

【メリット】

① 薬歴管理のもと、薬の十分な説明と服薬指導が受けられ、処方内容を正確に知ることができるほか、複数診療科受診による重複投与や副作用などのチェックが可能となり安全性が高まります。

また、医師と薬剤師によって薬の処方内容が二重にチェックされ、安全性が高まります。

② 薬の種類も豊富になり、利用範囲が拡大されることにより、患者に合った薬が処方され、充実した医療が提供されます。

③ 調剤薬局を自由に選択できます。また、ジェネリック薬品も選択でき、一部負担金や医療費の削減にもつながります。

④ 薬に関する相談など、薬剤師の説明が受けられます。

【デメリット】

① 医療機関と調剤薬局に支払う一部負担金の合計が若干高くなります。（薬の種類などで変わりますが、一割負



西会津診療所側の調剤薬局
元医師住宅

群岡診療所側の調剤薬局
旧群岡中学校敷地内



担で100円から300円程度高くなります。）

② 医療機関以外に調剤薬局に行く時間が増えます。

このように、医薬分業にはデメリットもありますがメリットの方が多く、薬の安全・適正使用、充実した医療提供が可能となりますので、皆さんのご理解をお願いします。

【問い合わせ先】

西会津診療所
群岡診療所

☎ 45-4228
☎ 47-2025

薬の受け取り方

診察が終わりましたら、会計の後に**処方せん**をお渡しします。



処方せんを調剤薬局に持っていきます。

※体の不自由な方は診療所内で薬を受け取ることもできます。



調剤薬局から薬を受け取ってください。薬代は調剤薬局に支払います。



地域でつくる学校の応援団

学校支援地域本部事業

学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てることを目的として実施している学校支援地域本部事業について、事業の内容と一学期の取り組みについて紹介します。

学校支援地域本部事業とは

学校からの支援要望に応じて、地域の方々をボランティアとして派遣し、学校を支援していくもので、地域のさまざまな人材を活用し、今まで行ってきた学校のためのボランティア活動をより組織的で効果的な活動にしていこうとするものです。

事業の目的

地域全体で学校教育を支援することで、教員や地域の方々が子どもと向き合う時間を増やすことができます。また、地域の方の持っている知識や経験を子どもたちの教育に生かすことで、よりきめ細やかな教育と地域の教育力の向上を目的としています。

学校支援ボランティア

「自分のできるときに」「自分ができることを」「子どもたちの教育のために」学校の教育活動や環境整備などを支援するボランティア活動です。

「わたしのまちを探検しよう」

野沢小学校2学年

自分たちで計画を立てて、町内の商店や地域の方々と楽しみながらかわりを持つことを目的に「わたしのまちを探検しよう」を6月22日に行いました。

児童24人が4班に別れて町内商店など7施設を4人の学校支援ボランティアの方々に案内してもらいながら訪問し、施設の説明を聞いたり、質問をしながらその施設について学習しました。



「西会津のステキを知ろう」

尾野本小学校4学年



6月10日、町内の名所旧跡や文化施設などを訪ね、自分たちの地域・ふるさとを再発見することを目的とした「西会津のステキを知ろう」を行いました。

参加した19人の児童は、新郷滝坂地区を訪れ、国で進めている「滝坂地すべり工事」を見学し、工事現場の担当者から説明を受けました。水を集める井戸の深さなどを聞いたり、山の向こうから光が見える亀裂を見たりし、児童たちには大きな驚きとなりました。

次に、滝坂地すべりの向いの「銚子の口」を訪れ、町を代表する景勝地を見学しました。

「郷土ふるさとじまんをしよう」

新郷小学校3・4学年

地域の民話に触れ、語り継ぐという意欲を高めることを目的とする「郷土ふるさとじまんをしよう」を6月23日に3・4年生4人で行いました。

学校支援ボランティアの細野シズエさんが講師となり昔話の一節を読んで聞かせ、次に語り部の体験として児童一人ひとりが昔話を読む学習をしました。

細野さんからは、昔話の内容をよく理解して、物語の情景や人物の気持ちを感情にこめて話すということを教えていただきました。

児童たちは、この学習を機会に語り部を続けていこうと意気込んでいました。





沖縄へ広がる友情

7月27日から30日の4日間の日程で、沖縄県大宜味村と町の児童生徒による夏季交流事業が大宜味村で行われ、町からは19人、大宜味村からは14人の児童生徒が参加し、大宜味村の素晴らしい自然のもと、ホームステイ先での海遊びや観光などで友情を深めました。

地元青年団協議会の迫力あるエイサーを見たり、沖縄の文化や歴史に触れるなど大変有意義な交流事業となりました。

冬には今回お世話になった大宜味村の児童生徒と震災の影響で夏季交流が中止となった、いわき市立豊間小学校の児童を町に招き、冬季交流が行われます。

農林産物等加工研修会が開講

今年度の農林産物等加工研修会の開講式と第1回研修会が7月21日に交流物産館よりっせで行われました。

会津若松市の山際食彩工房の山際博美代表を講師に迎え「素材と料理は人の心を結びつけ絆を作り上げる」と題した講義が行われました。

山際代表のこれまでの経験に基づく加工品開発のポイントや販売した体験談などに、受講生は熱心に聞き入っていました。

この研修会は2月まで月1回行われ、農林産物の加工実習や視察研修などを行います。



草木織り体験教室を開催

7月22日から24日、国際芸術村で元気グリーンツーリズム協議会の主催、寺前・自然塾の共催で「草木織り体験教室」が開催され、15人が参加しました。

協議会では現在、町外の人が町の魅力を感じられる体験プログラムの構築を進めており、今回の体験教室はその一環として行われました。

教室では、作家の出口富美子さんを講師として招き、一日半をかけて苧麻（アオソ・クロソ）の刈り取り作業、糸の取り出しや染色を行い、その後織り方を学びました。3日間、朝から夕方までの厳しい日程でしたが、女性の力で乗り越え、オリジナルのコースターを作りました。

日ごろの練習の成果を発揮

7月22日、さゆり公園屋外プールで町小学校水泳大会が開かれました。

来年の4月には町内の小学校5校が統合するため、最後となる本大会には144人が出場しました。

この日のために練習に励んできた児童の皆さんは、各種目で力強い泳ぎを見せていました。

また、プールのスタンドには保護者や各校児童の応援団が繰り出し、選手に大きな声援を送っていました。

[写真提供：和久井正己さん(10町内)]





叙勲おめでとうございます

元町消防団分団長の金子和男さん（５町内）が瑞宝単光章を受章されました。

金子さんは、昭和２８年から平成２年までの３７年にわたり消防人として町民の安心・安全の確保に活躍されました。

この間分団長などを務め、消防体制の強化、消防施設設備の強化拡充、予防消防の徹底や火災などの災害活動に尽力されました。

叙勲の伝達式は８月３日に町役場で行われ、会津地方振興局の畠利行局長から金子さんに勲記と勲章が手渡されました。

消防操法大会が開催されました

８月７日、喜多方市ヘリコプター離着陸場で喜多方支部消防操法大会が開催され、町消防団からも出場し、これまでの訓練で身に着けた操法技術を存分に発揮しました。

今回の大会出場を通じて培った技術やチームワークは地域防災の大きな力となります。

【出場選手（敬称略）】

ポンプ車操法の部…第５分団（指揮者）猪俣泰典（１番員）伊藤武美（２番員）熊倉友和（３番員）佐藤義信（４番員）杉本雅茂（補助員）三瓶大輔

小型ポンプ操法の部…第３分団（指揮者）齋藤嘉明（１番員）佐藤誠（２番員）石川健（３番員）齋藤照光（補助員）齋藤勝利



県外で西会津をＰＲ

７月６日から７日に東京都世田谷区で行われた「世田谷区民まつり」と８月２０日に神奈川県横浜市で行われた「鶴見川サマーフェスティバル」に町からも出店しました。

世田谷区と鶴見区は町と交流があることから、双方のイベントへ出店したもので、キュウリやトマトなどのミネラル野菜や、キクラゲ、シイタケ、みそラーメンや車麩など町の特産品を販売しながら西会津をＰＲしました。

どちらの会場でも町のブースは大勢の人で賑わい、西会津の魅力を知ってもらうことができました。

写真上：世田谷区民まつり

写真下：鶴見川サマーフェスティバル

おふくろの味は健康食

食物繊維をしつかり取って生活習慣病予防

体で役立つ食物繊維

食物繊維には日々の体調を整えるだけでなく、生活習慣病を予防する働きがあります。また、食物繊維には水溶性と不溶性の2種類があり、それぞれ働きが違います。

水溶性食物繊維（ゴボウ、ヒジキ、ワカメ、こんにゃくなど）

・腸内の善玉菌を増やし、腸を健康に保つ

・食後の血糖値の上昇を緩やかにする
・コレステロールの吸収を抑える



不溶性食物繊維（キノコ、大豆、おから、切り干し大根など）

・便秘を予防する

・腸で膨らむので、満腹感を得やすく、食べすぎ防止に役立つ

・十分に摂取すると、有害化学物質（発がん物質など）を排泄する



食物繊維は足りていますか？

□にチェックしてみましよう。
（判定はこのページの下にあります。）

□野菜を1日350g（野菜料理5皿）以上食べますか？

野菜を十分食べることで、1日の目標量の半分近くの食物繊維を摂取することができます。



□主食（ご飯・パン・めん）を毎食食べますか？

精白度の低いもの（精白米より玄米）ほど、食物繊維が多く含まれています。



□豆・大豆を1日1回食べますか？



□海藻やキノコを積極的に食べますか？



□イモと果物をそれぞれ1日1回ずつ食べますか？



1日にどれくらい食物繊維を取っていますか？

「日本人の食事摂取基準（2010年版）」では、18歳以上の1日当たりの食物繊維摂取量を男性では19g以上、女性では17g以上と決めました。

食物繊維を多く含む食品を食べやすく調理するなどして、しっかりと取るように心掛けましょう。

食物繊維を多く含む食品

野菜（350g）	7.9g
白飯（茶碗大盛り1杯）	0.6g
玄米（茶碗大盛り1杯）	2.8g
スパゲティ（乾燥100g）	2.7g
食パン（6枚切1枚）	1.4g
納豆（1パック）	3.3g
おから（50g）	4.8g
ヒジキ（乾燥7g）	3.0g
エノキタケ（1/3袋）	1.5g
シメジ（1/3パック）	1.1g
ジャガイモ（1個100g）	1.3g
バナナ（1本）	1.1g
リンゴ（半分）	1.5g

おふくろの味は食物繊維が十分取れる！

きんぴらごぼう、卵の花や煮物など、おふくろの味の家庭料理は、野菜などを使った料理が多いです。

野菜の皮をむくなど下準備もあり調理時間がかかりますが、大事な食物繊維がしっかりと取れ、そのほかにもビタミンなどさまざまな栄養が取れます。

野菜やキノコなどを使った料理を作る、食べる、選ぶなど食に対してもっと意識し、大事にすることが健康づくりの基本です。

【問い合わせ先】

健康福祉課健康支援係

☎45-4532

すごいな！むし歯のない子

7月20日、3歳児9人を対象に健康診査を行った結果、むし歯のない子は2人でした。



こゝろ 奥 煌くん
（西林東）



ゆう 橋谷田 優ちゃん
（2町内）

放課後子ども教室夏休み休日活動

放課後子ども教室の休日活動で、夏休み期間中「学校探検！」と「サマーキャンプ」を行いました。
町内各小学校から多くの児童が参加し、夏休みの楽しい思い出を作りました。

閉校前の思い出づくり 「学校探検！」

学校探検は、来年4月の小学校統合を控え、統合前に現在の小学校5校を訪問して他校の施設や歴史を学んだり、子どもたちの交流を通じて仲間づくりを行うことを目的として行いました。

7月25と26日の2日間にかけて行い、町内小学校の児童66人が参加しました。各学校では、それぞれの児童たちによるパソコンを使つての発表や、合唱部による校歌の披露など自分たちの学校の特色を発表しました。

その後は、班ごとに学校施設を見てまわりました。特に野沢小学校では統合後に仮校舎として使用されることから、参加した児童の皆さんは、各教室、特別教室や体育館などを真剣になって見てまわっていました。



西会津の自然を満喫 「サマーキャンプ」

8月6日から7日の1泊2日の日程で、旧群岡中学校グラウンドを会場に「サマーキャンプ」を行いました。

サマーキャンプは、西会津の自然を体験しながら、集団生活を通じて学校や学年を越えた交流活動を行うことを目的に毎年開催しており、今年は小学校の児童34人が参加しました。

初日は、グラウンドにテントを設営したあと、午後からは熊沢地内に移動して魚つかみを体験しました。

夕食は、カレーライスをみんなで作り、夜はキャンプファイヤーをして親睦を深めました。

2日目は、朝食の後に箸づくり挑戦し、自分で作った箸で流しソーメンを食べました。

参加した児童たちは、他の学校の児童たちと協力しながら活動を行い親睦を深めていました。

第10回奥川地区ソフトボール大会開催

8月15日、お盆恒例の奥川地区ソフトボール大会を奥川小学校で開催し、大字単位で5チームが参加しました。

地元住民のほか、お盆で帰省した方も加わり、熱戦を繰り広げました。

【大会結果】

優勝 豊島チーム
準優勝 飯根チーム
第3位 飯里チーム



町民バトンタッチ



鈴木 タカ子さん [松 尾]

多田 邦子さん（8月号から）メッセージ

いつも明るく、前向きな生き方をしているところが大好きです。

あなたの趣味は？

読書

熱中していることは？

ウォーキング（リハビリと思
って）

自分を一言で表現するとしたら？
のんびりなのにそそっかしい

これからやってみたいことは？
妹との旅行

あなたのモットーは？

嫌なことはすぐに忘れるこ
と。明日はもっと楽になると
思う

最近感動したことは？

NHK連ドラ「おひさま」
の陽子の『ありがとうございます』の言葉。あんなふうに、
いつも言えたらいいな

次の方を紹介してください
K・Kさん（芝 草）

あなたの宝物は？

『2人の孫』
「下の男の子が今年から保育
所へ行くようになりました。
本当にかわいいです」



聞いて！わたしの夢

ここでは西会津中学校の生徒の皆さんに、自
分の想い描いている夢や目標などを話してい
だいています。

今月は、3年・前バレーボール部部長の鈴木
成実さんです。

◆わたしの夢

「私は、将来絵を描く職業に就きたいです。
具体的には、漫画家やイラストレーターです。
きっかけは、描くことが好きだからです。自
分の描いた絵でいろいろな人を笑わせたり、
楽しい気持ちにさせたいからです」

◆心掛けていること

「毎日絵を描いています。そして、専門的
な学校に行くために勉強をがんばろうと思
います。また、なるべく外に出るようにして
います」

◆最後に未来の 自分に一言

「どんなに
つらいことが
あっても、自
分の夢に向か
ってがんばっ
てください」



町民ギャラリー ～水泳の町を目指して三十年！～

今年の暑さも九月の声と共に消えてゆく。

西会津町にプールができて三十年。今年、さゆり公園の三つのプールが賑わった。この夏は暑さもあつたが町外からの子どもたちが安心なプールへやってきた。東日本大震災に係る一連の風評から福島からは貸し切りバスを仕立ててやってきた保育園児らの姿もあった。

室内プールは平成六年の完成だが利用者は今までに子どもからお年寄りまで延べ六万人を越えた。日本一長く続いている高齢者健康水泳教室。プールはスポ少や女性らの歓声で毎日賑わっている。

西会津町から県体入賞や国体に出られる強い選手を育てようという目的から町水泳協会は今まで選手の強化に懸けてきた。その甲斐あって上野早紀選手をはじめとして五十嵐一樹選手、生方歩高選手、三留蒼選手ら四人の選手が町水泳協会登録選手として渡部洋一コーチのもとで県大会の上位入賞、国体出場を果たした。記録への挑戦は練習の成果しかない。一日八千メートルを泳ぐ練習が強い選手に育ててくれた。

私も高齢、今年、水泳協会結成三十年という節目で思い出多い会長を退任させていただきま
した。ご支援に感謝いたします。

和久井 正己（十町内）

まちの人口 ～8月1日現在～ （前月比）

人 口	7, 6 7 8人	(-3人)
男	3, 7 0 3人	(-1人)
女	3, 9 7 5人	(-2人)
世 帯	2, 8 3 8世帯	(-2世帯)

戸籍の窓口 ～7月受付分～ 〈敬称略〉

お誕生おめでとう

橋 本 ^{ゆう}悠くん 哲昭・まどか 森 野
五十嵐 ^{ゆらい}優頼くん 直行・瑠美 萱 本

お悔やみ申し上げます

山 内 榮次郎 (83) 圭 衿 父 8町内
小 林 幸 三 (62) トキ子 夫 9町内2
結 城 勝 (77) アサ子 夫 西 原
秦 英 夫 (71) 敬 輔 弟 萱 本
満 田 富美子 (95) 隆 之 祖母 下野尻
雅樂川 貞 子 (78) 正 明 母 宝 川
高 橋 孝 子 (78) 幸 也 母 樟 山
石 井 進 (70) アツ子 夫 中 町

【訂正】

8月号のお悔やみ欄で、田部トシ子さんの喪主が清野京子さん（叔母）となっていました。佐藤一郎さん（母）でしたので訂正いたします。

皆さんの作品を募集しています

みんなの広場「町民ギャラリー」のコーナーでは皆さんの作品を募集しています。

俳句、絵画や手芸など作品は問いません。

【問い合わせ先】

企画情報課広報広聴係 ☎45-4536

転入教職員紹介

教職員の人事異動は、東日本大震災の影響により延期されていましたが、8月1日付（講師は4月1日付）で教職員の皆さんが転入されましたので紹介します。

※敬称略（ ）は前任校

◆奥川小学校

校 長 佐藤 寅記（県教育センター）
講 師 薄 陽太（平成23年3月大学卒業）

◆野沢小学校

教 諭 長澤 文子（会津坂下町立坂下小学校）
講 師 小林 亜希（喜多方市立堂島小学校）
養護教諭 二瓶布由美（平成23年3月大学卒業）

◆尾野本小学校

教 頭 杉原 智（塙町立笹原小学校）

◆西会津中学校

校 長 佐久間雄彦（三島町立三島中学校）
教 諭 折笠 秀俊（会津若松市立第二中学校）
教 諭 佐藤 容子（郡山市立第五中学校）
教 諭 荒川 智子（会津若松市立第五中学校）
講 師 湍川 秀人（郡山市立第六中学校）

◆西会津高等学校

校 長 林 泰嗣（会津若松市立一箕小学校）
教 諭 山口 光彦（会津高等学校）
教 諭 永井富美子（会津農林高等学校）
実習教諭 野原サヨ子（会津養護学校）
講 師 遠藤 崇（猪苗代高等学校）
講 師 渡部 允也（喜多方高等学校）
講 師 小澤 祥子（喜多方第一中学校）

以下は広告です。内容については、広告主へお問い合わせください。

有料広告を募集しています

紙面に掲載する有料広告を募集しています。
詳しくはお問い合わせください。

- ◆大きさ 1枠当たり縦4.0cm×横8.5cm
- ◆掲載料 1枠当たり5,000円/月

【問い合わせ先】企画情報課広報広聴係

☎45-4536

小さなこゆりちゃん大集合

野沢ふるさと夏まつりで、町内の保育所の子どもたちが、こゆりちゃん音頭を披露しました。

こゆりちゃん トピックス



◆編集後記◆
朝晩、だいぶ涼しくなってきましたが、まだ日中は暑い日が続いています▼今年は猛暑と節電が叫ばれていたもので、わが家も近所の人からいただいたゴーヤの苗を植え、グリーンカーテンを作りました▼葉が生い茂り、緑の大きな幕になってくれることを期待していたのですが、水が足りなかったせいか、いまいちグリーンカーテンの役目を果たしてくれませんでした▼でも、ゴーヤは大きくはないですが何個かできたので、ゴーヤチャンプルーにしておいしくいただきました。

今月の表紙



8月15日、野沢マイロードで毎年恒例の野沢ふるさと夏まつりが行われました。威勢のいい太鼓や笛の音頭に合わせて、踊り手の皆さんが輪になって踊り、お盆の夜を盛り上げました。

広報にしあいづ
2011 (平成23年)

9 月号

発行：西会津町 編集：企画情報課
☎0241-45-2211 (代表)
info@town.nishiaizu.fukushima.jp
http://www.town.nishiaizu.fukushima.jp/



この広報紙は、環境に優しい大豆油インキを使用しています。